

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
日本史探究		2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)			
科目の目標 ○(何を学ぶか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) ○(どのように学ぶのか) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、表現力、判断力等) ○(何ができるようになるのか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)							
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術

5月5週2日	第11章 近世から近代へ2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていることとなるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月2週2日	第11章 近世から近代へ2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていることとなるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月3週2日	第13章 近代国家の展開1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月4週2日	第13章 近代国家の展開1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月5週2日	第13章 近代国家の展開1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月1週2日	第13章 近代国家の展開2 第一次世界大戦と日本	2	① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などに関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
			① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して	国語・情報・芸術

7月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出	関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	て自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
7月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
9月 1週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
9月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
9月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
9月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		
10月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。	定期試験/提出課題/発問評価	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合いの活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。
			② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。	定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出		

			③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	提出課題/授業態度/発表・レポート提出		察を深める。	
10月2週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 ② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済的動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月3週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月4週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月5週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月2週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月3週2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどへの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期試験/提出課題/発問評価 定期試験/提出課題/発問評価/発表・レポート提出 提出課題/授業態度/発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術

11月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。	定期試験／提出課題／発問評価	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術

			③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史の意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	提出課題／授業態度／発表・レポート提出	判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。		
1月 2週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LT貿易、日韓基本条約・沖繩返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史の意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LT貿易、日韓基本条約・沖繩返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史の意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 1日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	1	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 5週 1日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	1	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期試験／提出課題／発問評価 定期試験／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおとして考察を深める。	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					